

第12回南部陽一郎記念ふくいサイエンス賞受賞者について(中学生部門)

賞名	推薦種別	所属校氏名	学年	受賞理由	
				研究テーマ等	研究発表・コンテスト等での成績
最優秀賞	個人	福井市 美山中学校 林 愛絵	3	どの肉に一番鉄分が含まれるのか③ 肉(ホルモン)に含まれる鉄イオンを抽出する研究である。R元年度の審査員のコメントから改善点を見出し、独創的な方法で解決していく探究のプロセスが評価された。また、研究成果発表時のプレゼンテーション能力の高さも高い評価を得た。	<ul style="list-style-type: none"> ・福井県小・中学校 科学アカデミー賞 最優秀賞(R2) ・福井県小・中学校「私たちの理科研究」優秀賞(R2) ・福井県小・中学校 科学アカデミー賞 優秀賞(R1) ・福井県小・中学校「私たちの理科研究」優秀賞(R1) ・福井県小・中学校 科学アカデミー賞 優秀賞(H30) ・福井県小・中学校「私たちの理科研究」優秀賞(H30)
優秀賞	個人	敦賀市立 気比中学校 井上 紗良	1	回転振り子に関する研究 天井から吊り下がった振り子の回転運動についての研究である。通常の糸に変えて3種類の針金を用いて回転運動の周期を測定した。得られたデータから一般式を導き出し、その精度についても検証している点が評価された。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本学生科学賞 福井審査 福井県知事賞(R2) ・福井県小・中学校「私たちの理科研究」優秀賞(R2)
優秀賞	個人	福井大学 教育学部附属 義務教育学校 徳永 愛子	9	電気分解で何ができたのか？ 理科の授業で電解質を学習したときの疑問から始まった電気分解で生じる沈殿物の研究である。電極の種類や組み合わせ、水溶液の種類や濃度を段階的に変えて検証している。また、毎年研究テーマを設定し、継続的に研究している点も高く評価された。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本学生科学賞 福井審査 読売新聞社賞(R2) ・福井県小・中学校「私たちの理科研究」優秀賞(R2) ・日本学生科学賞 福井審査 優秀賞(R1) ・福井県小・中学生「私たちの理科研究」優秀賞(R1) ・福井県小・中学生科学アカデミー賞 優良賞(H30) ・福井県小・中学生「私たちの理科研究」優秀賞(H30)
奨励賞	個人	若狭町立 三方中学校 深川 幸希	1	久々子湖で見られた野鳥たち7 自宅近くの久々子湖に飛来するカモ類やハクチョウ類、シギチドリ類の種類、個体数、渡りの時期などを小学校1年生の時から7年間継続的に観察している。調査研究に加えて環境教育にまで発展している点が高い評価を受けた。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本学生科学賞 福井審査 県教育委員会賞(R2) ・福井県小・中学校「私たちの理科研究」優秀賞(R2) ・福井県小・中学生科学アカデミー賞 最優秀賞(R1) ・福井県小・中学校「私たちの理科研究」優秀賞(R1) ・全国児童才能開発コンテスト(科学部門) 財団科学賞(R1) ・福井県小・中学生科学アカデミー賞 優秀賞(H30) ・福井県小・中学校「私たちの理科研究」優秀賞(H30) ・全国児童才能開発コンテスト(科学部門) 財団科学賞(H30) ・福井県小・中学生科学アカデミー賞 優秀賞(H29) ・福井県小・中学校「私たちの理科研究」優秀賞(H29)
奨励賞	グループ	福井県立 高志中学校 小池 奏一朗 勝木 優斗 山下 剛毅	2	ふくい理数グランプリ ＜理数部門＞ 優秀賞 ふくい理数グランプリでは、単に試行錯誤を繰り返すだけでなく、その必要性や根拠、条件等との関連性を考慮しながら探究する姿が評価された。また、R元年度に引き続き連続して受賞している点も良い評価を得た。	<ul style="list-style-type: none"> ・ふくい理数グランプリ＜理数部門＞ 優秀賞(R2) ・勝山市教育委員会表彰(山下) 学校文化賞(R2) ・PCNこどもプロコン2019-2020(小池) ソフトウェア部門 PCN特別賞(R2) ・ふくい理数グランプリ(数学部門) 最優秀賞(R1) ・ふくい理数グランプリ(算数部門)(山下) 最優秀賞(H30)